

平成 31 年度 第 3 回役員会

別添資料

- 英語劇等スモールシアター移転費用の助成について
- 2020 年度（外国人留学生対象）麗澤大学後援会助成金（外部試験成績優秀者）について
- 学生食堂ひいらぎの品質向上支援について
- 令和 2 年度以降の後援会役員の選任方針について
- 平成 31 年度以降の後援会顧問・参与の選任基準について

令和 2 年 3 月

麗澤大学後援会事務局

<後援会役員会資料>

大学事務局
学生支援グループ**英語劇等スモールシアター移転費用の助成について**

学内キャンパスに設置されている施設につきましては、昭和30年代に建設された施設を含め、補修修繕処理を行いつつ利用を促してきた施設がいくつか存在します。

その中でも課外活動等、学生が利用する施設につきましては、学生に対する安全配慮を重視し、優先的に耐震工事等を実施して安全確保するか、又は他に移設する等の方向性が所轄官庁である文科省より示されておりました。

今年度に入り、対象となるキャンパス内の施設を総合的に調査点検したところ、昭和30年代に建設された施設の老朽化が著しく、耐震強度の不安も大きいため、解体・移設する方向性が大学及び学園の経営関係諸会議にて確認されました。

スモールシアターは、昭和58年に現施設に移転されて以降、本学の伝統と実績を有する英語劇グループを中心に37年間利用されてきましたが、前記の事由により、麗澤大学教育プラザ1階の「プラザホール」に移転させる計画が進捗しております。

この移転に伴う改修工事費は、およそ3000万円が見込まれており、麗澤大学・麗大麗澤会・大学後援会の三法人の出資によって資金を捻出し、学生活動の維持支援を行いたく、お願いを申し上げることとなりました。

改修後の新スモールシアターでは、英語劇グループだけでなく、フォークソング同好会・あかぺら同好会の他、プレゼンを活用した学生団体発表会においても活用していく予定となっており、より多くの学生の利用が期待されております。

校舎あすなろ iFloor 改修工事費の支援要請から間断なき状況ではありますが、後援会費の有効活用施策のひとつとして、ご検討いただきたくお願い申し上げます。

記

■支援要請内容

- | | | | |
|-------------|--------------------------|--------------|----------------------|
| (1) 対象施設 | スモールシアターの移転（プラザホール改修工事） | | |
| (2) 総改修工事費 | 3000万円超 | | |
| ①大道具等倉庫改修工事 | 440万円 | | |
| ②プラザホール改修工事 | 1930万円 | | |
| ③照明・防音等電気工事 | 1000万円 | | |
| ④設計等諸経費 | 300万円 | | <u>合計 3670万円（概算）</u> |
| (3) 支援要望額 | <u>1000万円</u> （改修工事費の一部） | | |
| (4) 工事日程 | 6月頃～9月中旬 | ※2学期より利用開始予定 | |

■支援方法

- (1) 令和2年度予算案<予備費>より充当
- (2) 役員会承認後⇒大学援助費に科目変更して総会にて最終決議

以 上

**2020 年度（外国人留学生対象）
麗澤大学後援会助成金（外部試験成績優秀者）について**

標記につきましては、2020 年度より所定の語学試験で優秀な成績を取めた学生を対象にした特別奨学金を給付することが決定し、募集することになりました。

つきましては、下記事項を参照の上、期限までに申請してください。

記

1. 対象者（全て満たす者）

- (1) 本学に在籍する **外国人留学生** で、在学中に獲得した成績・得点が基準以上である
- (2) 日本国籍を有しない者で、かつ永住者等 **JASSO 基準が適用されない者**

試験区分	支給要件	出身区分
日本語能力検定試験 N1 取得	N1 取得・100 点以上	非漢字圏
	N1 取得・140 点以上	漢字圏
BJT ビジネス日本語能力テスト	J1 合格・530 点以上	非漢字圏・
	J1+合格 600 点以上	漢字圏（共通）

2. 給付条件

- (1) 申請は在学中に 1 度のみとするが、**獲得点は前学年以前に遡っての申請を可**とする。
⇒例：3 年時に N1-150 点、4 年時に 120 点だった場合、4 年時に 150 点で申請可
- (2) 【N1】、【BJT】の各試験において、複数の給付条件を満たした場合は、**その全てに対する申請を可**とする。
⇒例：N1-120 点、BJT-550 点を取得した場合は、両方での申請が可能。

3. 申請方法

- (1) 「麗澤大学後援会給付申請書」を学生支援グループ後援会担当窓口で受理し、申請期限内に提出してください。
- (2) また、スコア等の証憑書類は、獲得スコアと受験日等が判別できる公的書類を別添資料として A4 用紙にて提出してください。
- (3) **★申請受付期間：2020 年 12 月〇日 ～ 2021 年 1 月 31 日 16 時 30 分★**
※受験日またはスコアの入手が期間の後になる場合は、2021 年度の申請となります。

4. 給付金額

別紙「麗澤大学後援会助成金給付金額」参照

以 上

<別紙>

2020年度（外国人留学生対象）
麗澤大学後援会助成金（外部試験成績優秀者）給付金額

■日本語能力検定試験 N1 合格者（**非漢字圏**）

得点区分	給付額
100点～110点未満	250,000円
110点～120点未満	300,000円
120点～130点未満	350,000円
130点～140点未満	400,000円
140点～150点未満	450,000円
150点以上	500,000円

■日本語能力検定試験 N1 合格者（**漢字圏**）

得点区分	給付額
140点～150点未満	250,000円
150点～160点未満	300,000円
160点～170点未満	350,000円
170点～180点以下	500,000円

■BJT ビジネス日本語能力テスト合格者

得点区分	給付額	
	非漢字圏	漢字圏
BJT ビジネス日本語能力テスト J1 合格	500,000円	300,000円
BJT ビジネス日本語能力テスト J1+合格	700,000円	500,000円

※注）BIT ビジネス日本語能力テストは、【J1・J1+】いずれかひとつを選択して申請。

■留意事項

1. 獲得スコア・取得資格は、在学中に取得したものが対象です。
2. 予算を超過する場合は、学年（4年生優先）・年度GPA成績によって調整します。
3. N1・BJTは、それぞれ別々の申請が可能です。
4. 申請は在学中に一回限りで、申請期限内に申請されたもののみ有効となります。
5. 漢字圏とは、【中国・香港・台湾・マカオ・韓国】出身者と定義する。

以上

学生食堂ひいらぎの品質向上支援について (学生満足度調査結果対策)

学生食堂につきましては、長年にわたり、後援会から小鉢の補食を支援いただき、栄養バランスのとれた喫食サービスを実現してまいりましたが、学生の美食・偏食嗜好に加え、素材単価の高騰や増税の影響により、学生食堂に対する満足度が低下し、改善要望が多く寄せられました。

一方、委託業者のLEOC株式会社から、次年度においては、据え置いてきた増税分を各メニュー10円・大盛50円値上げすることで担保したいとの要望が出されました。

これら二つの対策のため、学内にて検討しました結果、値上げ抑制とメニューの品質改善を後援会から支援いただく提案となりました。

学生食堂の喫食支援は、すべての学生に還元できる対策であり、先の役員会にて確認いただいた予算編成方針（公平性を重視）にも合致いたします。

上記の趣意をご理解の上、以下の提案事項についてご審議いただきたいと思っております。

記

後援会費の有効活用策(喫食支援)

■学生食堂(味・質・価格)の改善支援

■内容⇒総額**500万円**を助成

- ① 消費税増税助成(10円増額抑制)
- ② 大盛増額助成(50円⇒100円増額抑制)
- ③ 特製カレーの販売助成(280円⇒450円 170円助成)
- ④ 定食・うどん等の**品質向上**
- ⑤ **メニューの増加(和食・洋食のバランス調整)**
- ⑥ **朝食喫食支援(1時限目授業の増加に対応)**

■500万円助成の内訳

- ①増税抑制⇒6000食×10円=60万円
- ②大盛抑制⇒1000食×50円=50万円
- ③特製カレー助成⇒170円(差額)×5000食/年間=85万円

④～⑥については、350万円の助成額を有効活用できるよう委託業者と詳細を煮詰め4月役員会までに再提案。

以上

令和2年度以降の後援会役員の選任方針について

標記については、これまで父母懇談会開催会場となる地域別に役員を選任してまいりましたが、今年度は様々な異論もある中、柏会場に統合され、一定の効果があつたのではないかと推察しております。

来年度以降も柏会場で開催する方向性が確認された場合、現行基準（内規）の意義が薄れるとともに、後援会活動の活性化・後援会費をより有効に支援するための選任基準が必要と考え、下記のとおり提案させていただきます。

記

I. 新たな選任基準

- (1) 後援会の役割に応じた選任基準とする。
- (2) 副会長は、【大学援助・外国人留学生担当】・【父母懇談会・運営担当】に分類して委嘱する。

大学援助・外国人留学生担当	1名
父母懇談会・運営担当	1名
- (3) 幹事は、副会長の基準に紐づく選任基準とし、外国人留学生援助担当役員（幹事）を単独で置く。

大学援助担当	1名
父母懇談会担当	1名
外国人留学生援助担当	1名

II. 選任区分案

役職	改正後	従前
会 長	1名	1名
副会長	大学援助・外国人留学生担当 1名 父母懇談会・運営担当 1名	2名
幹 事	大学援助担当 1名 父母懇談会担当 1名 外国人留学生担当 1名	父母懇談会開催地域別 6名
会計監事	2名	2名
合 計	8名	11名

以 上

平成 31 年度以降の後援会顧問・参与の選任基準について

後援会顧問・参与については、後援会規則第 8 条において「若干名を置くことができる」と規定されており、これまでは廣池学園理事長・常務理事を顧問に、学内執行責任者（教員・事務局長）を参与とする前例を踏襲する方式で選任してまいりましたが、他大学の事例等を参考に、実質化させる選任基準をあらたに内規化して選任いたしたく、下記のとおりご提案いたしますので、ご審議いただきますようお願い申し上げます。

記

1. 選任基準変更の理由

- (1) 現状の顧問・参与は形骸化しており、実質的に後援会に寄与できていない。
- (2) 他大学の事例と比較して選任者数が多く、関与できにくい環境にある。
- (3) 選任基準を見直し、実質的に後援会に貢献でき得る内規とする。

2. 新たな選任基準内規

- (1) 顧問は、前任の後援会長とする。(1名)
- (2) 参与は、学長・副学長（学生担当）・大学事務局長とする。(3名)

3. 後援会会則（抜粋）

第 8 条（顧問、参与の委嘱）

本会に顧問および参与若干名を置くことができる。顧問および参与は会長が委嘱する。

4. 顧問・参与の新旧比較案

区分	改正案	現行
顧 問	前後援会長（巽久泰）	理事長 常務理事（5名）
参 与	学 長（徳永 澄憲） 副 学 長（堀内 一史） 事務局長（上平 光孝）	学長・副学長・学長補佐・研究科 長・学部長・図書館長・各センタ ー長・学部別教務主任・学部別教 務副主任・専攻コーディネーター・ 大学事務局長（29名）

以 上